



後藤 忍
Gotoh Shinobu
博士(工学) 大阪大学

2000年 科学技術振興事業団
戦略的基礎研究推進
事業 (CREST) 研究
員
2001年 福島大学行政社会学
部講師
2002年 同上 助教授
現在に至る

学会活動

- ・ 日本土木学会
- ・ 日本都市計画学会
- ・ 環境情報科学センター
- ・ 国際景観生態学会日本支部
- ・ 日本環境共生学会

社会活動

2001 年～ 福島市環境教育事
業「ふくしまエコ探検隊」
講師
2002年度 福島県石川町地域省
エネルギービジョン策定
委員会委員長
2002年度 福島県石川町地域新
エネルギービジョン策定
委員会副委員長
2003 年～ 東北地方ダム管理
フォローアップ委員会
摺上川ダムモニタリング
委員会委員
2003 年度 福島県ゼロエミッ
ション推進検討会委員長
など

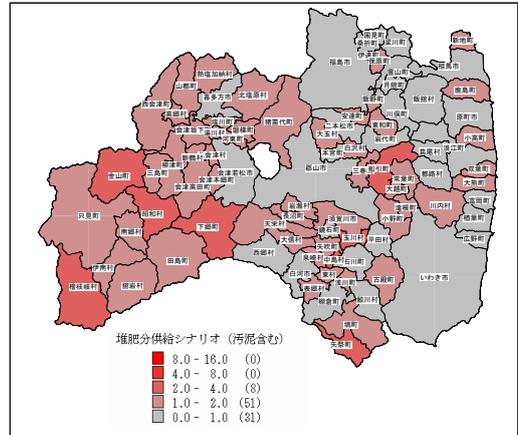
主な担当科目

環境計画論
環境文化論
ほか

環境問題の解決に向けて系統的に アプローチする

当研究室では、様々な環境問題の解決を目的とした計画について、系統的にアプローチする方法を研究しています。対象とする環境問題を、要素とそれらの関係性からなるシステムとして捉え、解決のために考えられる様々な手段を組織的に配列することが環境計画のアプローチです。

自然環境と人間との共生に関する問題については、都市域における野生生物の生息を支援するための緑地や都市インフラの配置について、地理情報システム (GIS) を用いた計画手法の研究を行っています。また、資源および廃棄物に関する問題については、持続的な「食」を支えるシステムに注目し、有機物循環を成立させるシステムの要件について研究を行っています。最近では、人々の意識や行動の変革を促すことが根源的な対策になるとの立場から、環境教育や環境メディアに注目して、研究や教材開発、作品制作などを行っています。



有機性廃棄物の需給バランスの分析

主な研究分野

- テーマ① 都市域における生物生息空間の計画システムの開発
- テーマ② 有機性廃棄物の需要供給バランスの分析
- テーマ③ 総合的環境指標の開発
- テーマ④ 環境教育手法や環境メディアの開発

相談に応じられる分野・テーマ

- ①自然共生の概念と計画
- ②循環型社会の概念と計画
- ③環境指標の開発
- ④環境教育の方法や教材

キーワード

環境計画, 環境システム工学, ランドスケープ計画, 環境指標, 環境教育, 環境メディア

代表的な業績

- ・ Shinobu GOTOH, Tohru MORIOKA, Tsuyoshi FUJITA(2000), “Applying Landscape Ecological Knowledge in Land-use Planning: Analysis System to Evaluate Habitat Connectivity in Land-use Scenarios for the Raccoon Dog in Urban Ecological Networks, Japan.”, Proceedings of International Symposium on City Planning 2000, 280-289
- ・ 後藤忍・盛岡通(2000): 生態ネットワークにつながる共生概念の系譜と階層的計画システム, 第28回環境システム研究論文発表会講演集, pp.497-503
- ・ 後藤忍, 石田葉月: 有機性廃棄物の有効利用における潜在的な需要供給バランスの分析と環境負荷削減効果の評価—福島県を事例として—, 環境共生 (2004年度掲載予定)